



新聞活用講座のご案内

沖縄タイムス社

沖縄タイムス社では、新聞を家庭学習や生涯学習に活用する講座を無料で行います。次のページから例を紹介いたします。貴PTAの講座としてご利用いただければ幸いに存じます。

【Q&A】よく寄せられる質問

- Q 講師料はかかりますか。
A 費用は無料で行なっています。
Q 準備するものは？
A 使用する紙面、台紙は弊社で準備します。作業に使うはさみなどの道具もある程度の数はご準備できます。
Q 参加者が集まりやすいのは休日や夜間ですが...
A 対応可能です。まずはご相談ください。
Q 連続して開講できますか。
A 前ページの例やほかの内容を組み合わせ、連続講座とすることもできます。

お問い合わせは
沖縄タイムス社NIE事業推進室（担当：安里）
電話 098（860）3618
平日午前10時～午後5時
メール times-nie@okinawatimes.co.jp

「NIE」とは？

NIEはNewspaper In Educationの略で、アメリカ生まれの新聞活用の運動です。日本でも教科書に新聞の読み比べなどが登場し、文章を読み解く力や相手に伝える力をつけたり、社会に目を向けるきっかけにする取り組みが学校で行われ始めています。

新聞はいろいろな情報がつまっている「話題の宝庫」。学校以外でも家庭学習で使っていただけるよう講座メニューを用意しました。

親子100人以上が集まった
豊見城市での教室



新聞記事を切ったり、はったり。楽しみながらニュースが分かる。動植物や宇宙、地域の問題や芸能などなど、いろいろな情報が新聞にはあります。自分の好きな分野を集めたり、記事を読むことでそれまで関心なかったものに興味がわいたり。「自分発見」の場にもなります。

参加した父母の声（名護市での教室）

こんなおもしろい自由研究があるとは！
楽しくてたまりません。

息子と楽しい時間を過ごすことができ
よかったです。新聞を通していろんなこ
とを知ってほしかったので、いい機会が
できてとてもよかったです。



工作をしているみたいで楽しんでいました。
 新聞をもとにして親子で会話するのはいつ
 もと違った話ができておもしろいですね。

読むだけではなく、興味を持ったものを切り抜く→はるというのは調べ学習などにもとても役立つなあと思いました。家でもぜひ続けてみます。

◎ご利用方法の一例

PTA講座で夏休みの自由研究に

家族で「好きなものの新聞」づくり

地域の記事を集めて「わがまち新聞」

☆コンテストも開催☆

沖縄タイムス社は、夏休み明けに新聞スクラップコンテストを開催します。昨年は2600点余りの応募がありました。新聞を続けて読んで発見したこと、意見を書いた作品が寄せられました。スクラップ作品作りのコツもお伝えします。

好きな写真みつけ！

中原幼稚園で教室



【つるぎ】市立牛原幼稚園
安里禮子園長は10月31日、
園児と保護者が一緒に作品を
つくった新聞スクラップ教室が
あった。約100人の園児が、
好きな文字を切り抜いて台紙
に貼り、絵などを書き添えて
父母や祖父母へのプレゼント
にした。

幸地諒真くん(6)はハロウ
インが題材の漫画「エイト



新聞から好きな写真を切り
抜いてプレゼントをつくる
中原幼稚園の園児と保護者
一ろるま市宮里・同園

この日は参観日で、隣接する中原小学校で3日に行われる県NIE実践フォーラムの関連行事として開催。写真選びの過程で記事の内容を親が説明する場面も見られた。

赤は見出し
みどり
緑はリードだよ



朝の5分間でニュースをチェック！ 記事の要点を抜き出した見出し、記事の中で大事なところをまとめたリードなど、新聞の仕組みが分かれば読み方のコツもつかめます。毎朝届き、さまざまなニュースがぎゅっとつまった情報源を利用しない手はありません。

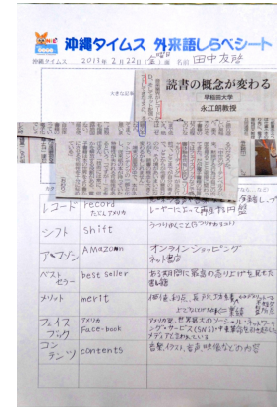
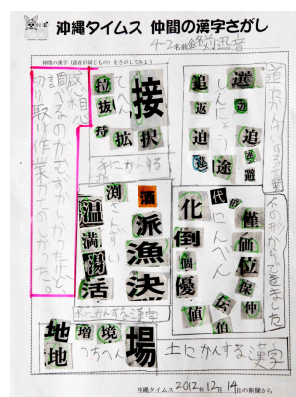
授業で新聞が出てくるので、親も勉強したかった。新聞を話題にすると話が盛り上がるのが実感できました（小学校PTA講座での声）

新聞
熟語の
を提供
提供し

新聞を、ひと工夫して家庭学習の材料に。大きな見出しの漢字を仲間（部首）分けしたり、熟語の意味や成り立ちを調べてみたり。事例を紹介しながら、ワークシート（学習用台紙）を提供します。（NIE専用サイト <http://nie.okinawatimes.co.jp/nie/> でも記事と台紙を提供しています）



毎月最終水曜日の「月刊NIE」で活用術を紹介



新
ルー
知ら
ます。

新聞は話題の宝庫です。新聞を読んでグループで意見交換するワークショップは、知らぬ人同士でも話題が尽きず盛り上がります。親子で参加すると、親が子の興味関心を知ることはもちろん、普段話題にすることが少ない親の考えを子どもが知るきっかけになります。ニュースを知ると同時に表現力を付ける場にも。



例えば、親子参加の行事で、お父さんお母さんが青春の頃の一場面をテーマにすれば、話がはずみます。子どもがリポートにまとめる講座にもできます。豊富な記事、写真を持つ新聞社ならではの企画です。

お問い合わせは 沖縄タイムス社NIE事業推進室 電話098(860)3618 times-nie@okinawatimes.co.jp